

札幌市の教育が目指す人間像

自立した札幌人

札幌市の子ども観・教育観

子どもは、どの子もよさや可能性をもっています。

大人は子どもを他者と比較するのではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。

学校で、家庭で、子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきましょう。

学校教育目標（保護者・地域との約束）

小学校

新川小学校

【教育目標】

- 進んで実行する子ども
 - よく考える子ども
 - なかよく明るい子ども
 - 強い心とじょうぶな体の子ども
- 【目指す学校像】
笑顔いっぱいあいさつ広がる学校

新光小学校

【教育目標】

わたしたちは、つよく、かしこく、心やさしい新光小学校の子どもです

【目指す学校像】

ほほえみがあふれるあったかい学校

新川西中学校

自ら立ち ともに 未来を拓く生徒

【具体目標】

- 1.創造的な知性を育む
- 2.豊かな情操を育む
- 3.たくましい心身を育む

【目指す生徒像】

- 1.自ら学ぶ意欲のある生徒（知）
- 2.広い豊かな心の生徒（情）
- 3.逞しく生き抜く生徒（体・意）

【求められる資質】

- 1.自己教育力・創造力
- 2.協調性・国際性
- 3.耐性・進取

市立札幌新川高等学校

スクール・ミッション

- フロンティア精神をもって、自分自身を鍛え磨く生徒を育成する学びの場
- 小学校、中学校、大学との連携を学習活動と結びつけることにより、社会人基礎力を育成するとともに、生涯にわたる持続的な学びを実現し、地域社会の発展に貢献できる人材を育成する学びの場

スクール・ポリシー

【校訓】 開拓者たれ

～豊かな人間性を育み、21世紀の開拓者となるべき逞しい生徒を育てる～

地域の実態

- ◆先人が開拓したこの地は、昭和後半から宅地化が進み、町内会活動も盛んであった
- ◆今はコロナ禍や高齢化の影響で変革期を迎えている
- ◆校区が東西に広く、西中と新川小の子どもの7割はバスで通学している

パートナー校の目指す子ども像



- 自分自身を高めようとする子
- 新たな世界を切り拓く逞しい子
- 人とのつながりを大切にし、環境を愛せる子

子どもの実態

- ◆素直で明るく、優しい子どもが多い
- ◆小中学生は、学習態度はやや受け身で、年齢が進むとともに自己表現を苦手とする傾向がある
- ◆高校生は、チャレンジ精神を持ち、澁澁としている

推進の4つの視点と具体的な取組

A. 12年間を通した学びをつなげる

- ◆学年（発達）に応じた授業の「学び方」を明確にして実践する
- ◆AARサイクルの視点で捉え直した課題探究的な学習を推進する
- ◆総合的な学習の時間から総合的な探究の時間へとつながる系統性・連続性を見通したカリキュラムを作成する

- 札幌教育事業「春の研究集会」
- 学びのデザイン
- 教員育成セミナー

B. 子どもの育ちをつなげる

- ◆12年間の「知・徳・体の段階的な目指す子ども像」を明確化（可視化）する
- ◆配慮の必要な子どもについての理解を深め、情報を共有する
- ◆生徒会と児童会が連携し、子どもの自治的な活動を推進する

- 小中児童会・生徒会交流
- さっぽろっ子サミット
- 絵本読み聞かせ



CS準備委員会・子どもの声を聴く

C. 小中高の教職員をつなげる

- ◆札幌教育事業を通して、「自分自身を高めようとする子」に重点を置き、学力観や授業観に関する相互理解を深める
- ◆札幌教育事業を契機に、教員間の日常的な交流の活発化を図る
- ◆乗り入れ授業により学びの多様化を図る

- 札幌教育事業「春の研究集会」
- 4校長協議

D. 学校・家庭・地域をつなげる

- ◆小中高4校によるコミュニティ・スクール移行を目指し、学校運営協議会の設立準備を進める
- ◆地域学校協働本部を設置し、学校支援や地域活性化に繋がる活動を実施する

- 各種地域ボランティア活動
- 新川高・新川西中吹奏楽部合同演奏会